

秋吉台

— 美祢市自然保護協会だより —

2011年4月1日号
(創刊号)

発行：美祢市自然保護協会
美祢市秋吉台管理事務所内
TEL:0837-62-0640

秋吉台憲章

- 秋吉台の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 秋吉台の自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 秋吉台の自然を正しく利用し、人との共生をはかろう。
- 秋吉台の自然を守るために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 秋吉台の自然、景観、歴史・文化を後世に末永く継承しよう。



自然保護協会の発足を振りかえって

秋吉台・秋芳洞は、自然が造りだした日本一のカルスト台地であり、国定公園・特別天然記念物として保護され、美祢市民の誇りとする貴重な財産です。

一方、カルスト台地は、有望な鉱工業資源として鉱山開発が進められています。現在、美祢市全域にまたがる広大なカルスト台地は、開発許可区域と保護区域とに分けられ、自然保護と開発の両立を図る措置が講じられています。

ところで、昭和30年代頃になると観光客の増加に伴い、洞内にエレベーターが建設され、続いて黒谷支道の開発、さらには、台上に有料道路が建設されるなど、観光客の利便性を優先した観光開発が自然保護区内で進められるようになりました。開発は、国の許可を得て行なわれていましたが、学術研究を進めている人たちの中から自然保護を強く訴える動きも出てきました。昭和44年には、有料道路のコースをめぐる自然保護論争が起り、また、年間150万人の観光客が訪れてくるようになると、台上や周辺開発と自然保護が問題となってきました。

このような背景があって、自然環境の保護、また文化財を守る動きが出てきました。秋芳町は、環境保護を積極的に取り組むため秋吉台管理事務所を昭和44年に設置しました。一方、行政と町内の各種団体・企業が発起人となり、多くの町民参加のもと秋吉台とその周辺の自然を守ることを目的に、昭和44年7月に「秋芳町自然保護協会」が設立されました。

自然保護協会は、秋吉台及びその周辺の自然に親しみ、調査研究して自然保護に努めることを目的とし、会員や役員の研修活動を積極的に取り組むとともに自然観察会など自然に親しむ活動、清掃活動、さらには文化財保護・自然保護の啓発活動を推進し現在に至っています。

多くの市民の協力により、発足当時と変わらず会員は、現在も1,000人を超す組織となっております。これからも、協会発足の原点及び42年の歴史を踏まえ、また、時代の変化に即応しながら後世に貴重な自然遺産を継承するための事業を推進してまいりたいと思います。

(会長 河本芳久)

平成22年度観光行政のうごき — 開洞100周年を契機に —

美祢市は観光振興で「交流拠点都市」を目指そうとしている。

— 主な事業の取り組み —

- 秋芳洞内の照明をLED（発光ダイオード）に改修
- 劣化していた秋芳洞黒谷支道の改修
- 広谷にアンテナショップを開設
観光案内などの情報発信や特産物販売の店舗
- 観光案内に関するサインシステム（観光案内板）の整備
- 総合観光振興計画の策定

平成26年度までに観光客200万人を目指し、これを実現するための行動計画

- 市議会に「観光交流推進特別委員会」を設置

ジオパークの認定を目指し、美祢市の地質に係わる価値について調査研究を開始



(黒谷支道改修完成予想図)

— 発刊にあたって —

自然環境・文化財保護の立場にある自然保護協会は、まず会員相互が情報を共有し、活動状況を広く市民にお知らせする必要があるとの思いで、このたび会報「秋吉台」を発刊することにしました。会報の愛読、ご意見・ご投稿よろしくお願ひします。

—平成 22 年度活動紹介—

会員研修

平成 22 年 10 月 17 日 (日)
北九州市平尾台方面

北九州市のカルスト台地「平尾台」に、会員 38 名が参加して視察研修を行いました。同じカルスト台地で活動するボランティアの現状の説明を受け、本協会の秋吉台での活動について改めて自然保護に対する意識を高めることができました。



—参加して—

晴天に恵まれた 10 月 17 日(日)に、自然保護協会の研修に参加した。

目的地は、平尾台である。国の天然記念物に指定されている。高速を下りて、登山道路は大型車には幅員も狭く急カーブもあり要注意である。

「平尾台自然観察センター研修室」で、平尾台の紹介ビデオや解説の講話を聞き、付近を散策する。

石灰岩は、秋吉台のように鋭さがなく、丸みを帯びて女性的である。北九州博物館を見学して、皆元気で帰秋する。

(会員 奥田 清)

役員研修

平成 22 年 11 月 23 日 (火)
下関市長府方面

下関市長府城下町を訪問し、歴史ある文化や史跡について功山寺や毛利邸、長府庭園など貴重な文化遺産を観光ボランティアの案内で研修しました。

—参加して—

11 月 23 日(火)、長府城下町の「文化財・史跡研修」は、とても有意義であった。

こじんまりした城下町ではあるが、地域の人々の史跡保存に対する情熱が感じられた。

(理事 金石弘士)



平成 23 年度活動計画 (案)

- ★定期総会 (6 月～7 月)
- ★自然探訪 (年 2 回実施)
- ★清掃活動 (3 月、7 月、10 月)
- ★機関紙発行 (年 2 回)
- ★会員研修 (9 月～10 月)
- ★市内文化財パトロール (年 2～4 回)
- ★秋吉台自然環境パトロール (年 4～6 回)
- ★自然保護啓発作品募集 (市内小中学校・7 月)

清掃活動

平成 22 年 8 月 21 日 (土)
秋吉台展望台周辺

7 月の豪雨災害により「秋吉台花火大会」が中止となり、当協会主催の秋吉台清掃活動も延期となりました。そこで平成 23 年山口国体プレイベント (8 月 22 日(日)) の自転車競技が開催されるにあたり、その前日の 8 月 21 日 (土) 午前 8 時から約 1 時間秋吉台展望台を中心に清掃活動を会員 16 名が参加して実施しました。



おめでとう!

平成 22 年度自然保護啓発募集受賞作品 (金賞)

習字の部

大田小 1 年 佐内 仁美
秋吉小 2 年 金子 亮太
嘉万小 3 年 上本 日菜
別府小 4 年 杉山 諒京
別府小 5 年 福田 歩未
秋吉小 6 年 廣中 菜々子
秋芳南中 1 年 北村 かおり
美東中 2 年 田中 彰
伊佐中 3 年 阿川 ひとみ

(応募総数 318 点：
小学校 286 点・中学校 32 点)

ポスターの部

大嶺小 1 年 久富 詩織
別府小 2 年 阿座上 愛美
大田小 3 年 吉富 早耶
大嶺小 4 年 吉野 奈実
川東小 5 年 河村 綾音
秋吉小 6 年 末永 毬乃
於福中 1 年 田中 悠子
秋芳北中 2 年 阿座上 友里
秋芳北中 3 年 佐々木 こゆり

(応募総数 102 点：
小学校 64 点・中学校 38 点)

秋吉台の山焼き考

エッセイ

春を告げる山焼き、これは草原を維持する大切な行事。今は観光行事ともなっている。ところで、前準備が大変、山焼き当日も多くの人手がかかる。山林に延焼しないように、前もって火道を伐っておく必要がある。関係住民は、草刈機を持って台上に登らなければならない。過疎化・高齢化で作業は大変。

火入れは、一斉の合図で四方から枯れ草に火がつけられ、瞬く間に大きな炎となり、草原を焼き尽くし、その跡は黒い地肌で台地が覆われてしまう。この行事なくしてカルスト台地の草原は維持できない。人の手が加わって、緑の草原が誕生する。山焼きは、関係住民総参加の大イベント。

大自然が造りだしたカルスト台地。この台地に生まれ、私たちは生かされている。感謝の心でこの台地の保護と活用を考えたい。



(Y.K)